



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月13日

上場会社名 株式会社グルメ杵屋

上場取引所 東

コード番号 9850 URL <https://www.gourmet-kineya-hd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 椋本 充士

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部門長 (氏名) 山中 真二

TEL 06-6683-1222

四半期報告書提出予定日 2020年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	31,447	0.2	745	7.6	814	1.8	552	25.1
2019年3月期第3四半期	31,509	1.5	806	32.5	800	9.9	441	6.9

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 584百万円 (69.6%) 2019年3月期第3四半期 344百万円 (36.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	24.48	
2019年3月期第3四半期	19.57	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	37,337	15,911	41.0	677.54
2019年3月期	35,481	15,700	42.3	664.34

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 15,295百万円 2019年3月期 14,996百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		12.00	12.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,198	0.4	979	34.6	830	11.3	481	45.6	21.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期3Q	22,610,359 株	2019年3月期	22,610,359 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2020年3月期3Q	36,124 株	2019年3月期	36,124 株
------------	----------	----------	----------

期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期3Q	22,574,235 株	2019年3月期3Q	22,575,132 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は経済情勢等様々な不確定要因により、これからの予測数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善等を背景に景気は緩やかな回復基調ではあるものの、世界的な貿易摩擦など海外の政治経済情勢の不確実性の高まりの影響もあり、先行き不透明な状況が続いております。

外食産業を取り巻く環境は、人手不足を背景とした人件費の上昇に加え、消費税率の引き上げによる消費動向の変化や業種・業態の垣根を越えた顧客獲得に向けた企業間競争の激化など、引き続き厳しい経営環境に直面しています。

このような環境下で当社グループは、「食」とは文字通り「人を良くする」ものであるという価値観を共有し現していくことで、世界の人々のより良いライフクオリティと豊かな人生の実現に貢献していくため、「ホールディングス機能の強化によるグループ収益力の強化」「投資案件への積極的な取り組み」「グローバル展開」「人材育成と職場環境の改善」を重点戦略として推進してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高314億47百万円（前年同期比61百万円減）、営業利益7億45百万円（前年同期は営業利益8億6百万円）、経常利益8億14百万円（前年同期は経常利益8億円）、親会社株主に帰属する四半期純利益5億52百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益4億41百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりです。

(レストラン事業)

レストラン事業においては、既存店の好調を柱に、改装、フランチャイズ制度を推進致しました。新店は10月のそば部門の「越後叶家」1店舗であります。改装15店舗を実施し、そのうち5店舗は業態変更を行いました。退店は20店舗であり、そのうち10店舗はフランチャイズ店舗へ移管致しました。この結果、当第3四半期連結会計期間末におけるレストラン事業の店舗数は、38都道府県に427店舗（フランチャイズ店舗68店舗を含む）となりました。店舗数減に伴う売上高の減少及び人手不足による人件費上昇の影響により減収減益となりました。

以上の結果、レストラン事業の売上高は206億91百万円（前年同期比3.7%減）、セグメント利益6億65百万円（前年同期は7億56百万円の利益）となりました。

(機内食事業)

㈱エイエイエスケータリングにおいては、関西国際空港における中国便及び東南アジア・中東便等でのインバウンドの搭乗客が引き続き増加したことで好調に推移し、増収増益となりました。

以上の結果、機内食事業の売上高は47億70百万円（前年同期比19.4%増）、セグメント利益1億92百万円（前年同期は1億36百万円の利益）となりました。

(業務用冷凍食品製造事業)

㈱アサヒウェルネスフーズにおいては、季節品のおせちの製造が増加したことから増収となりましたが、おせち食材の材料費の上昇や貝塚市に移転した新工場の稼働開始に伴う一時的なコストの発生等により減益となりました。

以上の結果、業務用冷凍食品製造事業の売上高は28億80百万円（前年同期比3.3%増）、セグメント利益1億78百万円（前年同期は2億1百万円の利益）となりました。

(不動産賃貸事業)

大阪木津市場㈱においては、地方卸売市場の入居率はほぼ前年同期並みではあるものの、新たに建設した食品加工場の賃貸開始等により増収増益となりました。

以上の結果、不動産賃貸事業の売上高は5億26百万円（前年同期比7.5%増）、セグメント利益2億40百万円（前年同期は2億6百万円の利益）となりました。

(運輸事業)

水間鉄道㈱においては、観光客誘致等の取り組みを続けているものの、沿線地域の利用客の減少の影響により減収となるとともに、修繕費の増加等もあり減益となりました。

以上の結果、運輸事業の売上高は3億49百万円（前年同期比0.1%減）、セグメント利益14百万円（前年同期は15百万円の利益）となりました。

(その他)

大阪木津市場㈱で展開しております水産物卸売事業は、魚介の卸売数量が減少したことから減収減益となりました。日本食糧卸㈱で展開しております米穀卸売事業は販売数量が減少したことにより減収減益となりました。

以上の結果、その他の売上高は22億28百万円（前年同期比6.8%減）、セグメント損失29百万円（前年同期は26百万円の利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は107億58百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億52百万円増加いたしました。これは主に売掛金15億73百万円の増加によるものであります。固定資産は265億79百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億3百万円増加いたしました。これは主に連結子会社である㈱アサヒウェルネスフーズの新工場稼働による増加を含む有形固定資産6億60百万円の増加によるものであります。

この結果、総資産は、373億37百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億55百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は90億83百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億47百万円増加いたしました。これは主に買掛金7億48百万円及び短期借入金8億70百万円の増加によるものであります。固定負債は123億42百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億2百万円減少いたしました。これは主に社債2億15百万円の減少によるものであります。

この結果、負債合計は、214億26百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億45百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は159億11百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億10百万円増加いたしました。これは主に配当金の支払い2億70百万円及び親会社株主に帰属する四半期純利益5億52百万円等によるものであります。

この結果、自己資本比率は41.0%（前連結会計年度末は42.3%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年5月13日に発表いたしました連結業績予想の数値から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,047,149	5,638,731
預け金	846,875	816,061
売掛金	1,503,298	3,076,817
商品及び製品	455,302	326,839
原材料及び貯蔵品	281,991	352,957
短期貸付金	728	805
その他	373,207	549,595
貸倒引当金	△2,657	△3,569
流動資産合計	9,505,894	10,758,237
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	25,656,032	27,347,439
減価償却累計額	△19,241,618	△19,317,943
建物及び構築物(純額)	6,414,413	8,029,495
機械装置及び運搬具	2,363,105	2,881,459
減価償却累計額	△1,840,643	△1,934,888
機械装置及び運搬具(純額)	522,461	946,570
工具、器具及び備品	1,884,031	2,020,824
減価償却累計額	△1,347,478	△1,340,868
工具、器具及び備品(純額)	536,553	679,956
土地	8,353,917	8,356,356
建設仮勘定	2,017,049	492,087
有形固定資産合計	17,844,397	18,504,467
無形固定資産		
のれん	244,072	216,618
その他	57,521	118,720
無形固定資産合計	301,594	335,338
投資その他の資産		
投資有価証券	1,917,136	1,906,044
長期貸付金	61,554	63,230
差入保証金	5,699,637	5,554,254
繰延税金資産	69,401	76,893
その他	100,533	157,390
貸倒引当金	△18,706	△18,526
投資その他の資産合計	7,829,555	7,739,286
固定資産合計	25,975,547	26,579,092
資産合計	35,481,442	37,337,330

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,146,339	1,895,145
短期借入金	330,000	1,200,000
1年内償還予定の社債	430,000	430,000
1年内返済予定の長期借入金	2,426,136	2,564,438
未払金	460,515	308,485
未払費用	1,831,764	1,785,928
リース債務	31,839	28,742
未払法人税等	135,516	162,810
未払消費税等	134,236	220,963
賞与引当金	134,442	100,123
資産除去債務	26,503	32,564
その他	249,096	354,592
流動負債合計	7,336,390	9,083,795
固定負債		
社債	730,000	515,000
長期借入金	8,079,232	8,234,648
長期未払金	128,725	128,055
リース債務	37,864	17,106
繰延税金負債	1,393,223	1,393,223
資産除去債務	1,130,038	1,106,997
転貸損失引当金	12,750	10,500
退職給付に係る負債	132,907	135,823
その他	799,913	801,027
固定負債合計	12,444,657	12,342,381
負債合計	19,781,047	21,426,177
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,838,236	5,838,236
資本剰余金	6,837,695	6,851,267
利益剰余金	2,029,624	2,311,319
自己株式	△35,361	△35,361
株主資本合計	14,670,196	14,965,462
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	356,133	366,376
為替換算調整勘定	△23,689	△34,397
退職給付に係る調整累計額	△5,676	△2,397
その他の包括利益累計額合計	326,767	329,581
非支配株主持分	703,430	616,109
純資産合計	15,700,394	15,911,153
負債純資産合計	35,481,442	37,337,330

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	31,509,580	31,447,765
売上原価	19,302,497	19,505,731
売上総利益	12,207,083	11,942,034
販売費及び一般管理費	11,400,497	11,196,522
営業利益	806,586	745,512
営業外収益		
受取利息	2,854	2,483
受取配当金	16,502	47,376
賃貸料収入	56,520	48,544
その他	61,171	65,078
営業外収益合計	137,048	163,482
営業外費用		
支払利息	52,536	57,762
借入手数料	34,015	1,800
賃貸費用	31,191	30,431
その他	25,490	4,145
営業外費用合計	143,233	94,140
経常利益	800,400	814,854
特別利益		
固定資産売却益	750	6
投資有価証券売却益	—	52,958
受取補償金	1,916	34,841
受取保険金	—	13,488
その他	1,787	213
特別利益合計	4,454	101,507
特別損失		
固定資産除却損	32,511	51,052
固定資産売却損	1,749	984
減損損失	109,867	52,141
投資有価証券売却損	4,122	—
退店違約金	1,000	—
その他	31,808	—
特別損失合計	181,059	104,178
税金等調整前四半期純利益	623,795	812,184
法人税、住民税及び事業税	157,385	225,475
法人税等合計	157,385	225,475
四半期純利益	466,409	586,708
非支配株主に帰属する四半期純利益	24,539	34,122
親会社株主に帰属する四半期純利益	441,870	552,585

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	466,409	586,708
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△76,370	10,243
為替換算調整勘定	△53,043	△16,224
退職給付に係る調整額	7,561	3,569
その他の包括利益合計	△121,852	△2,411
四半期包括利益	344,557	584,296
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	337,432	555,403
非支配株主に係る四半期包括利益	7,125	28,893

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	レストラン 事業	機内食事業	業務用冷凍 食品製造事 業	不動産賃 貸事業	運輸事業	計				
売上高										
外部顧客に対する 売上高	21,493,919	3,994,521	2,790,099	490,213	349,468	29,118,222	2,391,358	31,509,580	-	31,509,580
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	18,735	98,358	-	44,164	161,258	786,350	947,608	△947,608	-
計	21,493,919	4,013,257	2,888,457	490,213	393,632	29,279,480	3,177,708	32,457,189	△947,608	31,509,580
セグメント利益	756,503	136,302	201,415	206,756	15,561	1,316,539	26,103	1,342,642	△536,056	806,586

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、水産物卸売事業、米穀卸売事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△536,056千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. 当第3四半期連結会計期間より(株)老番亭本部を連結子会社化しており、レストラン事業に区分されております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「レストラン事業」セグメントにおいて、(株)老番亭本部の株式を取得して連結子会社としたことにより、のれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては117,054千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	レストラン 事業	機内食事業	業務用冷凍 食品製造事 業	不動産賃 貸事業	運輸事業	計				
売上高										
外部顧客に対する 売上高	20,691,574	4,770,490	2,880,832	526,859	349,066	29,218,823	2,228,942	31,447,765	—	31,447,765
セグメント間の内部 売上高又は振替高	48,265	13,686	19,103	—	65,773	146,828	771,972	918,801	△918,801	—
計	20,739,839	4,784,176	2,899,936	526,859	414,839	29,365,651	3,000,915	32,366,566	△918,801	31,447,765
セグメント利益	665,436	192,962	178,497	240,508	14,046	1,291,451	△29,836	1,261,615	△516,102	745,512

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、水産物卸売事業、米穀卸売事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△516,102千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。